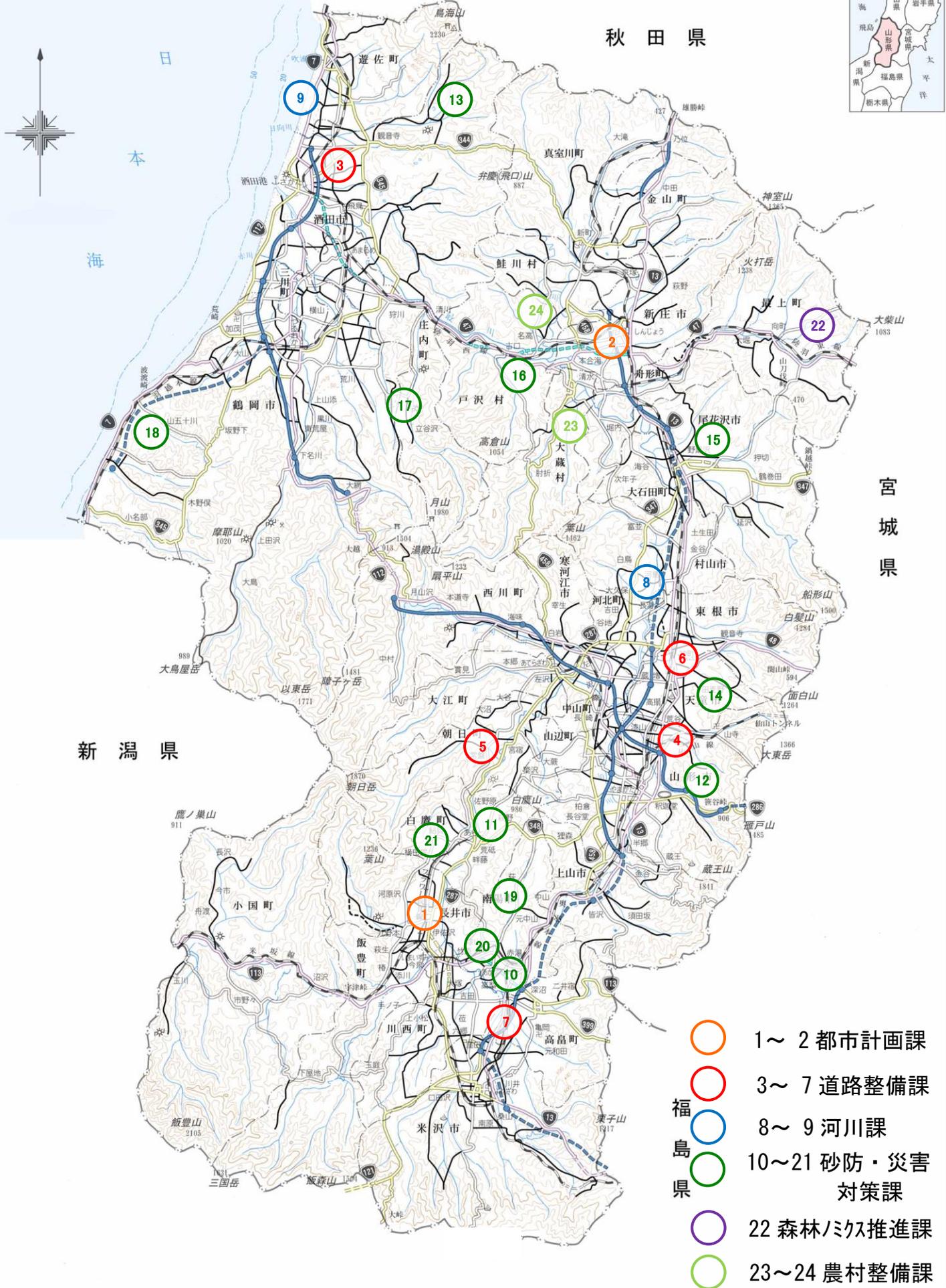


## 令和元年度 第1回公共事業評価監視委員会の案件表

事業種別	県 (県土 整備部)	県 (農林 水産部)	市町村	合計	総合評価					
					継a(i)	継a(ii)	継a(iii)	継b(i)	継b(ii)	継c(i)
街路事業	2			2			2			
道路改築事業	3			3	2			1		
交通安全道路事業	2			2		2				
河川改修事業	1			1	1					
海岸侵食対策事業	1			1	1					
土砂災害対策事業(砂防)	6			6	1		3	2		
土砂災害対策事業(地すべり)	2			2			2			
土砂災害対策事業(急傾斜)	4			4	2		2			
林道事業		1		1					1	
地すべり防止事業		2		2				1	1	
合 計	21	3	0	24	7	2	9	4	2	0
					18			6		0

第 1 回公共事業評価監視委員会【事業中評価】事業箇所図



令和元年度 第1回山形県公共事業評価監視委員会【事業中評価】対象事業一覧

資料3-3

事業名	路線名 河川名等	施行場所	進捗状況(計画年次)			進捗状況(事業費等)		主な事業効果 ● 貨幣換算し、費用便益分析における便益(B)に計上している事業効果 ○ 貨幣換算する手法が確立されていないものの、事業により得られる効果	事業中評価対象となる理由	計画年次の遅れの理由	総合評価
			採択年	目標年 (当初又は前回評価時目標年)	計画年次の遅れ	全体事業費 (進捗度)	全体延長等 (供用延長等)				
1 街路整備事業	(都) 桐町成田線	長井市本町	H22	R4 (R2)	2年	36.5億円 (85.7%)	L=390.2m (L=0m)	●現道拡幅により走行時間が短縮され、走行軽費の低減が期待できる。 ○無電柱化により、都市防災機能の向上が図られる。 ○歩道幅員が確保され、歩行者の安全が図られる。	事業中評価後5年経過	・予算減少	継a(iii)
2 街路整備事業	(都) 北本町飛田線	新庄市新町	H27	R6 (R3)	3年	11.6億円 (12.0%)	L=508.0m (L=0m)	●現道拡幅により走行時間が短縮され、走行軽費の低減が期待できる。 ○緊急輸送道路の無電柱化により、都市防災機能の向上が図られる。 ○歩道幅員が確保され、歩行者の安全が図られる。	採択後5年経過	・予算減少	継a(iii)
3 道路事業(改築)	国道344号	酒田市上安田～ かみのそね 上野菅根 やすだ (安田バイパス)	H27	R6 (R6)	-	19.8億円 (17.1%)	L=3,080m (L=0m)	●バイパス整備により走行時間が短縮され、走行経費の低減が期待できる。 ○歩道幅員が確保され、歩行者の安全性向上が図られる。	採択後5年経過		継a(i)
4 道路事業(改築)	主要地方道 やまてら 山形山寺線	山形市風間 じゅうもんじ ～十文字 たかせがわし (高瀬川橋工区)	H22	R5 (R1)	4年	20.2億円 (55.2%)	L=500m (L=0m)	○築80年を経過した老朽橋を新橋に架替えることで、道路の安全性が向上する。 ○道路幅員の確保により、走行性・安全性の向上が図られる。	事業中評価後5年経過	・用地(条件)	継b(i)
5 道路事業(改築)	一般県道 しらたきみやびゆせん 白滝宮宿線	朝日町太郎 どうろく (道陸工区)	H27	R5 (R5)	-	14.1億円 (13.6%)	L=620m (L=0m)	○通行止めによる孤立集落の解消 ○幅員狭小及び線形不良の解消による観光施設等への安全性の高いアクセス道路の確保	採択後5年経過		継a(i)
6 道路事業(交通安全)	一般県道 東根尾花沢線	東根市神町南	H27	R4 (R2)	2年	6.0億円 (76.2%)	L=166m (L=0m)	○歩道整備により歩行者と自動車の通行帯が分離され、特に児童・生徒の安全性が向上する。 ○右折レーン設置により渋滞が緩和され、交差点での交通事故の危険度が低下する。	採択後5年経過	・用地(条件)	継a(ii)
7 道路事業(交通安全)	一般県道 ぬかのめ かめおかせん 糠野目亀岡線	たかはたまち ぬかのめ 高島町糠野目	H27	R3 (R2)	1年	3.2億円 (74.2%)	L=177m (L=0m)	○交通渋滞の緩和により、利便性の向上が期待される。 ○交差点内の円滑な通行が可能となり、交通事故発生抑制が期待される。 ○歩道幅員が確保され、歩行者の安全性が確保される。	採択後5年経過	・用地(条件)	継a(ii)
8 河川改修事業	おだんがわ 大旦川	かわしま 村山市河島～ 村山市名取	S61	R12 (R12)	-	200.0億円 (50.2%)	9, 190m (3,360m)	●河川改修により氾濫区域内の下記の浸水被害の軽減を図る。 ●家屋1,087戸、事業所533件、農地559ha、公共土木施設等の直接被害。 ●事業所等の営業停止損失、家屋等の清掃等の応急対策費用などの間接被害。 ○交通途絶、ライフライン切断、事業所の休業等に伴う波及被害を軽減を図る。	事業中評価後5年経過	-	継a(i)
9 海岸侵食対策事業	ひこ 比子地区海岸	遊佐町比子	H7	R10 (H22)	-	36.0億円 (71.2%)	6基 (1基)	●想定侵食区域内の家屋3戸や宅地9,838m <sup>2</sup> 、防砂林等を保全することができる。 ●背後地にある防砂林(クロマツ林)39.6haの保全により、飛砂の防止機能を継続的に確保し、飛砂被害の軽減を図ることができる。 ○防砂林(クロマツ林)が持つ景観、歴史・文化を保全することができる。 ○生物生育の場や砂浜の海水浄化機能を保全することができる。	事業中評価後5年経過	-	継a(i)
10 土砂災害対策事業(砂防)	おりはたがわ 織機川	うらしやま 南陽市漆山	H27	R10 (R6)	4年	14.5億円 (10.4%)	えん堤工2基 床固工10基 (0基)	●漆山地区の人家179戸の家屋、家庭用品被害を軽減する。 ●フラワー長井線74m、県道659m等の施設被害及び農作物被害を軽減する。 ○土砂災害に対する不安感を解消し、安心感が向上する。	採択後5年経過	・予算減少	継a(iii)
11 土砂災害対策事業(砂防)	ふどう きわ 不動沢	さのほら 白鷹町佐野原	H27	R2 (R1)	1年	2.3億円 (74.6%)	えん堤工1基 (0基)	●佐野原地区の人家4戸の家屋、家庭用品被害及び人的被害を軽減する。 ●国道75mの施設被害を軽減する。 ○土砂災害に対する不安感を解消し、安心感が向上する。	採択後5年経過	・予算減少	継a(iii)

事業名	路線名 河川名等	施行場所	進捗状況(計画年次)			進捗状況(事業費等)		主な事業効果 ● 貨幣換算し、費用便益分析における便益(B)に計上している事業効果 ○ 貨幣換算する手法が確立されていないものの、事業により得られる効果	事業中評価対象となる理由	計画年次の遅れの理由	総合評価	
			採択年	目標年 (当初又は前回評価時目標年)	計画年次の遅れ	全体事業費 (進捗度)	全体延長等 (供用延長等)					
12	土砂災害対策事業(砂防)	ひらいしみずさわ 平石水沢	山形市上東山	H12	R5 (R2)	3年	11.0億円 (62.7%)	えん堤工4基 (2基)	●平石水地区の人家41戸の家屋、家庭用品被害及び人的被害を軽減する。 ●市道1,170m、平石水公民館等の施設被害を軽減する。 ○土砂災害に対する不安感を解消し、安心感が向上する。	事業中評価後5年経過	・予算減少 ・用地(共有地)	継b(i)
13	土砂災害対策事業(砂防)	にっこうがわ 日向川	酒田市升田	H12	R4 (R1)	3年	12.0億円 (84.9%)	床固工5基 (2基)	●升田地区の人家104戸の家屋、家庭用品被害を軽減する。 ●市道3100m、保育園等の施設被害及び農作物被害を軽減する。 ○土砂災害に対する不安感を解消し、安心感が向上する。	事業中評価後5年経過	・予算減少 ・施工期間(猛禽類)	継b(i)
14	土砂災害対策事業(砂防)	ぬくつがわ 貫津川	天童市上貫津	H27	R5 (R2)	3年	1.1億円 (25.8%)	溪流保全工400m (0基)	●上貫津地区の人家20戸の家屋、家庭用品被害及び人的被害を軽減する。 ●市道500mの施設被害を軽減する。 ○土砂災害に対する不安感を解消し、安心感が向上する。	採択後5年経過	・予算減少	継a(iii)
15	土砂災害対策事業(砂防)	たざわ 田沢	尾花沢市牛房野	H27	R2 (R2)	-	1.5億円 (74.7%)	えん堤工1基 (0基)	●田沢地区の人家20戸の家屋、家庭用品被害及び人的被害を軽減する。 ●市道1,578m、田沢公民館等の施設被害を軽減する。 ○土砂災害に対する不安感を解消し、安心感が向上する。	採択後5年経過	-	継a(i)
16	土砂災害対策事業(地すべり)	すなざわ 砂沢	戸沢村古口	H27	R4 (R1)	3年	10.2億円 (83.6%)	地下水排除工 1,444m (640m)	●古口地区の人家10戸の家屋、家庭用品被害および人的被害を軽減する。 ●村道やJRおよび浄化センター等の公共施設の被害を軽減する。 ○土砂災害に対する不安感を解消し、安心感を向上する。	採択後5年経過	・予算減少	継a(iii)
17	土砂災害対策事業(地すべり)	くどうさわ 工藤沢	庄内町科沢	H22	R2 (H28)	4年	4.1億円 (80.5%)	法枠工3,388m2 (3,388m2) 水路工250m (0m)	●人家13戸の家屋、家庭用品被害および人的被害を軽減する。 ●県道の公共施設の被害を軽減する。 ○土砂災害に対する不安感を解消し、安心感を向上する。	事業中評価後5年経過	・予算減少	継a(iii)
18	土砂災害対策事業(急傾斜地)	たきのもと 滝野本	鶴岡市戸沢	H27	R6 (R4)	2年	4.2億円 (74.6%)	崩壊土砂防止柵工 324m (166m)	●滝野本地区の人家20戸について、人的被害を防ぎ、家屋や家庭用品被害を軽減する。 ●市道470mの被害を軽減する。 ○対策工事を実施することにより、住民に安心感を与える。	採択後5年経過	・予算減少	継a(iii)
19	土砂災害対策事業(急傾斜地)	いげくろ 池黒(1)	南陽市池黒	H27	R5 (R5)	-	2.3億円 (17.8%)	崩壊土砂防止柵工 160m (0m)	●池黒地区の人家11戸について、人的被害を防ぎ、家屋や家庭用品被害を軽減する。 ●市道155m、公民館の施設被害を軽減する。 ○土砂災害に対する不安感を解消し、安心感が向上する。	採択後5年経過		継a(i)
20	土砂災害対策事業(急傾斜地)	うるしやま 漆山(6)	南陽市漆山	H27	R4 (R4)	-	2.3億円 (37.4%)	法面对策工 3,838m2 (679m2)	●漆山地区の人家5戸について、人的被害を防ぎ、家屋や家庭用品被害を軽減する。 ○土砂災害に対する不安感を解消し、安心感が向上する。	採択後5年経過		継a(i)
21	土砂災害対策事業(急傾斜地)	だいりんじ 大林寺(6)	白鷹町鮎貝	H27	R5 (R3)	2年	1.2億円 (31.3%)	吹付法枠工 1,700m2 (0m2)	●大林寺(6)地区の人家5戸について、人的被害を防ぎ、家屋や家庭用品被害を防止する。 ●町道大町神社新町線140mの施設被害防止 ○土砂災害に対する不安感を解消し、安心感が向上する。	採択後5年経過	・予算減少	継a(iii)
22	(県施工) 林道事業	もがみ おく ほそみち 最上奥の細道線	最上郡最上町大字富沢地内	H22	R6 (H31)	5年	9.2億円 (55.0%)	9,673m (5,324m)	●路網の整備により、木材の搬出経費や輸送トラックの大型化による輸送経費の削減が図られる。 ○林道整備に伴うコスト削減により間伐が促進される。	事業採択後10年経過	・予算減少 ・用地(共有地)	継b(ii)
23	地すべり対策事業	たき きわいほん 滝の沢第四	最上郡大蔵村南なみやま山	H21	R4 (R1)	3年	7.5億円 (96.1%)	地下水排除工 1式	●農地306.3ha、農業用施設(農道・水路など)、農作物の被害が軽減される。 ●家屋15戸の一般資産にかかる被害が軽減される。 ●県道1.3km、村道0.5km、その他公共施設等にかかる被害が軽減される。 ○土砂災害に対する不安感を解消し、安心感が向上する。	事業採択後10年経過	・地すべり沈静化未了	継b(i)
24	地すべり対策事業	とざわ 戸沢	最上郡戸沢村松つざか坂	H9	R4 (H28)	6年	14.2億円 (92.5%)	抑止工 1式	●農地756.5ha、農業用施設(農道・水路など)、農作物の被害が軽減される。 ●家屋、工場等316戸の一般資産にかかる被害が軽減される。 ●県道6.8km、村道1.9km、その他公共施設等にかかる被害が軽減される。 ○土砂災害に対する不安感を解消し、安心感が向上する。	事業中評価後5年経過	・予算減少 ・災害対応	継b(ii)